

産業建設常任委員会審査日程

日 時 平成30年12月6日（木）
午前9時～
場 所 第2委員会室

審査内容

- 1 議案第99号 平成30年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について（公営）
- 2 議案第96号 平成30年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1回）について（農林）
- 3 議案第113号 山陽小野田市商工センターの指定管理者の指定について（商工）
- 4 議案第114号 山陽小野田市労働会館の指定管理者の指定について（商工）
- 5 議案第104号 山陽小野田市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について（土木）
- 6 議案第105号 山陽小野田市法定外公共物管理条例の一部を改正する条例の制定について（土木）
- 7 議案第92号 平成30年度山陽小野田市駐車場事業特別会計補正予算（第1回）について（都市）
- 8 議案第106号 山陽小野田市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について（都市）
- 9 議案第107号 山陽小野田市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について（都市）
- 10 議案第115号 竜王山公園オートキャンプ場の指定管理者の指定について（都市）

- 11 議案第 97 号 平成 30 年度山陽小野田市下水道事業特別会計補正予算
(第 1 回) について (下水)
- 12 議案第 98 号 平成 30 年度山陽小野田市農業集落排水事業特別会計補正
予算 (第 2 回) について (下水)
- 13 議案第 108 号 山陽小野田市下水道事業の設置等に関する条例の制定に
ついて (下水)
- 14 陳情・要望について
- 15 閉会中の継続調査事項について

平成30年第4回 12月定例会
産業建設常任委員会提出資料

平成30年12月6日提出

- P 1 平成30年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）
- P 2 ミッドナイトオートレース試験開催について
- P 3 小型自動車競走場スタンド棟等整備事業基本設計・実施設計について
- P 4 外観パース
- P 5 正面外観パース

平成30年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算(第2回)

左端の※の項目は、今回の補正予算により、増額となったもの

●開催に係る収支

【単位 千円】

	項 目	歳 入	歳 出	備 考
①	本場開催発売金	8,154,115		返還金100,000千円を含む
	入場料収入	3,600		平成25年度から特別入場料のみ
	場外事務協力費	404,396		
	その他収入	36,663		事故金、雑入、貸付収入
②	義務的経費			義務的経費の合計：5,814,514
	払戻金		5,639,352	
	交付金		175,162	うち1.2号交付金の合計：134,891
③	開催経費			開催経費の合計：2,144,861
	賞典費		521,044	
	事務協力費		617,231	
	返還金		100,000	
	その他開催経費		846,586	その他開催経費
	(収益保証)		60,000	
④	包括的民間委託料		620,000	日本写真判定
⑤	合 計	8,598,774	8,579,375	
	(A) 歳入 - 歳出		19,399	

●開催以外に係る収支

	項 目	歳 入	歳 出	備 考
※	⑥ 基金繰入			
	財政調整基金繰入金	11,000		地域公益事業へ充当
	施設改善基金繰入金	5,500		調査委託料へ充当
	施設改善基金繰入金	21,400		設計委託料へ充当
	施設改善基金繰入金	76,713		リース料へ充当
	財政調整基金利息	4		
	施設改善基金利息	17		
	(収益保証)	60,000		
※	⑦			
	地域公益事業		11,000	
	設計委託料		21,400	
	調査委託料		5,500	
	リース料		76,713	
	財政調整基金積立金(利子分)		5	
	施設改善基金積立金(利子分)		18	
⑧	合 計	174,634	146,619	
	(B) 歳入 - 歳出		28,015	

●新重勝式に係る収支

	項 目	歳 入	歳 出	備 考
※	⑨			
	勝車投票券発売収入	1,544,960		4重勝単勝式に係る勝車投票券発売収入 返還金5,632千円を含む
※	⑩			
	義務的経費			義務的経費の合計：1,089,385
※				
	払戻金		1,077,531	4重勝単勝式に係る勝車投票券払戻金
※				
	JKA交付金		11,854	4重勝単勝式に係るJKA交付金
※	⑪			
	開催経費			開催経費の合計：162,794
※				
	開催場負担金		10,925	4重勝単勝式に係る共同開催場への負担金
※				
	特別抛 outcomes		146,237	4重勝単勝式に係る全国小型自動車競走施行者協議会への特別抛 outcomes
※				
	返還金		5,632	4重勝単勝式に係る勝車投票券返還金
※	⑫			
	発売業務委託料		184,721	4重勝単勝式に係る発売業務受託者への委託料
※	⑬			
	施設改善基金積立金		40,000	
⑭	合 計	1,544,960	1,476,900	
	(C) 歳入 - 歳出		68,060	

●ミッドナイトレース試験開催に係る収支

	項 目	歳 入	歳 出	備 考
※	⑮			
	勝車投票券発売収入	369,000		ミッドナイトレース開催に係る勝車投票券発売収入 返還金5,000千円を含む
※				
	その他収入	8,640		
※	⑯			
	義務的経費			義務的経費の合計：258,516
※				
	払戻金		254,800	
※				
	JKA交付金		3,716	うち1.2号交付金の合計：1,896
※	⑰			
	開催経費			開催経費の合計：118,745
※				
	賞典費		22,804	
※				
	返還金		5,000	
※				
	その他開催経費		90,941	その他開催経費
⑱	合 計	377,640	377,261	
	(D) 歳入 - 歳出		379	

合 計 (A) + (B) + (C) + (D)		115,853	
小型会計歳入歳出合計	10,636,008		10,636,008

債務解消額(リース料)	76,713
単年度収支額(赤字解消額)	115,853
2つの債務解消額	192,566
施設改善基金(積立額-取崩)	▲63,595
財政調整基金(積立額-取崩)	▲10,995
基金の取崩を除いた債務解消額	117,976

ミッドナイトオートレース試験開催について

【目的】

ミッドナイトオートレースとは、レース場にお客を入れず、無観客で実施するものであり、発売はインターネット投票に限定されているため、固定経費を大幅に削減することが可能である。収益性の高い事業としてオートレース業界全体で取り組むことが決定されている。

山陽場としても、累積債務を早期に解消することにつながる取組であることから、音量調査等も含めた試験開催につき、以下のとおり実施する予定である。

なお、埴生地区及び津布田地区の周辺住民に対しては、事前に班回覧による案内文書を出した上で、10月31日に試験開催に係る説明会を実施した。試験開催中に、実際に音量等を御確認いただき、試験開催後、測定結果等を御報告差し上げる。これらの結果から今後の本格的導入について検討していきたい。

【試験開催日程】

平成31年2月17日（日）～19日（火）の3日

平成31年2月22日（金）～25日（月）の4日 合計7日

【レース発走時刻】

第1レース発走時刻 午後 8：30頃

最終レース発走時刻 午後 11：30頃

【レース数】

7車×7レース

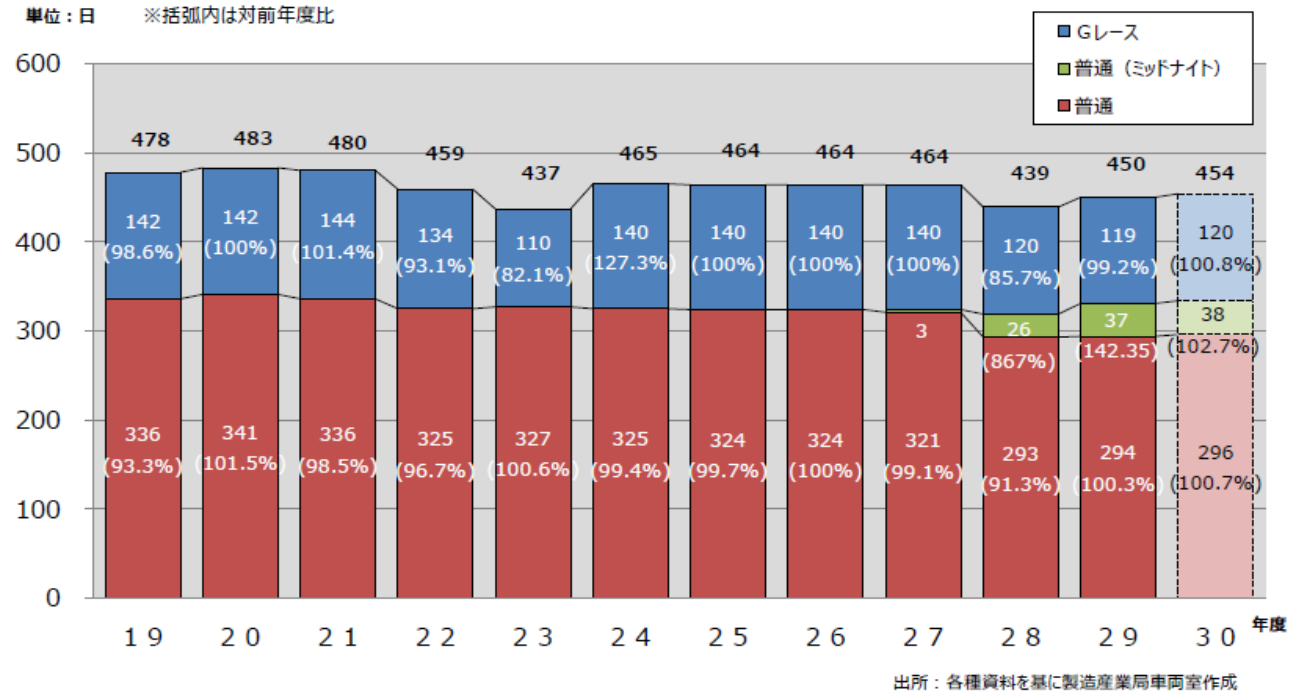
【発売方法及び売上見込み】

インターネット投票のみで発売。1日当たり売上 5,200万円

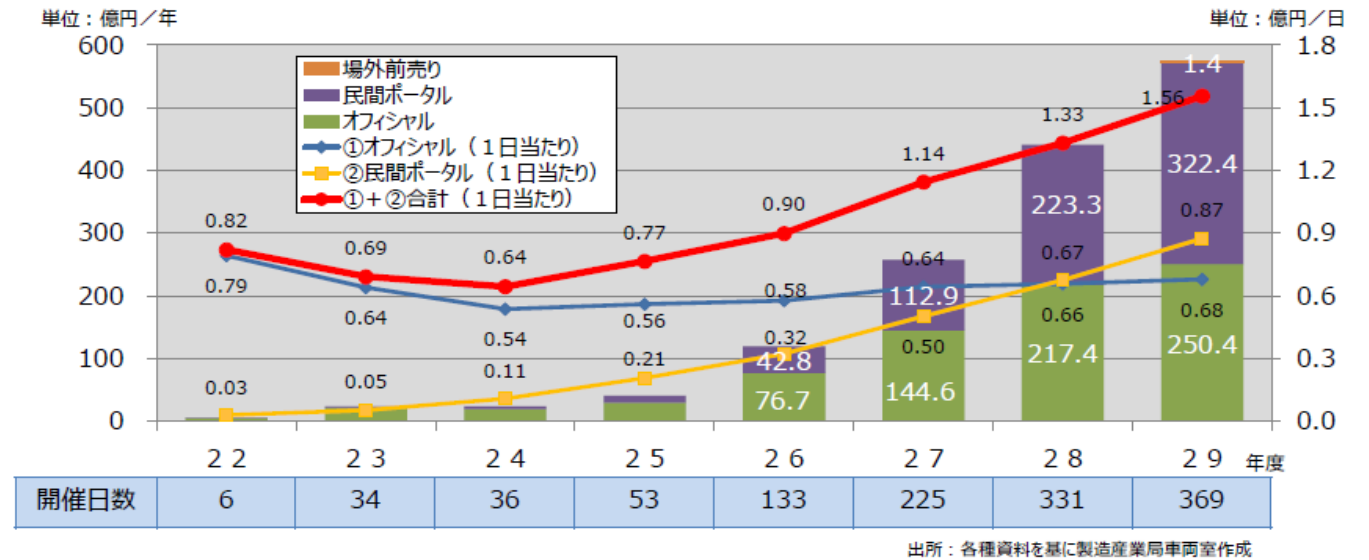
【騒音対策】

オートレースは、エンジン音が発生する競技であるため、近隣住民の住環境を悪化させないよう、消音機能付きのマフラーを特別に装着し、騒音対策を実施する。

(参考) オートレース開催日数の推移



(参考) ミッドナイト競輪について



小型自動車競走場スタンド棟等整備事業基本設計・実施設計について

今後の施設のあり方の計画を見直すため、耐震化、改修や解体・新設についてのメリット・デメリットの内容を比較し、最終的な計画をつめていくための基本構想・基本計画を平成30年8月末に策定した。

その結果、建物工事一式及び今後10年間のランニングコストをトータルした上で、最も費用対効果が高く、ふさわしい施設改修方法は以下のとおりである。

〔東スタンドを解体し、東スタンドを新設する。西スタンドは、減築改修し、1階部分を再使用する。〕

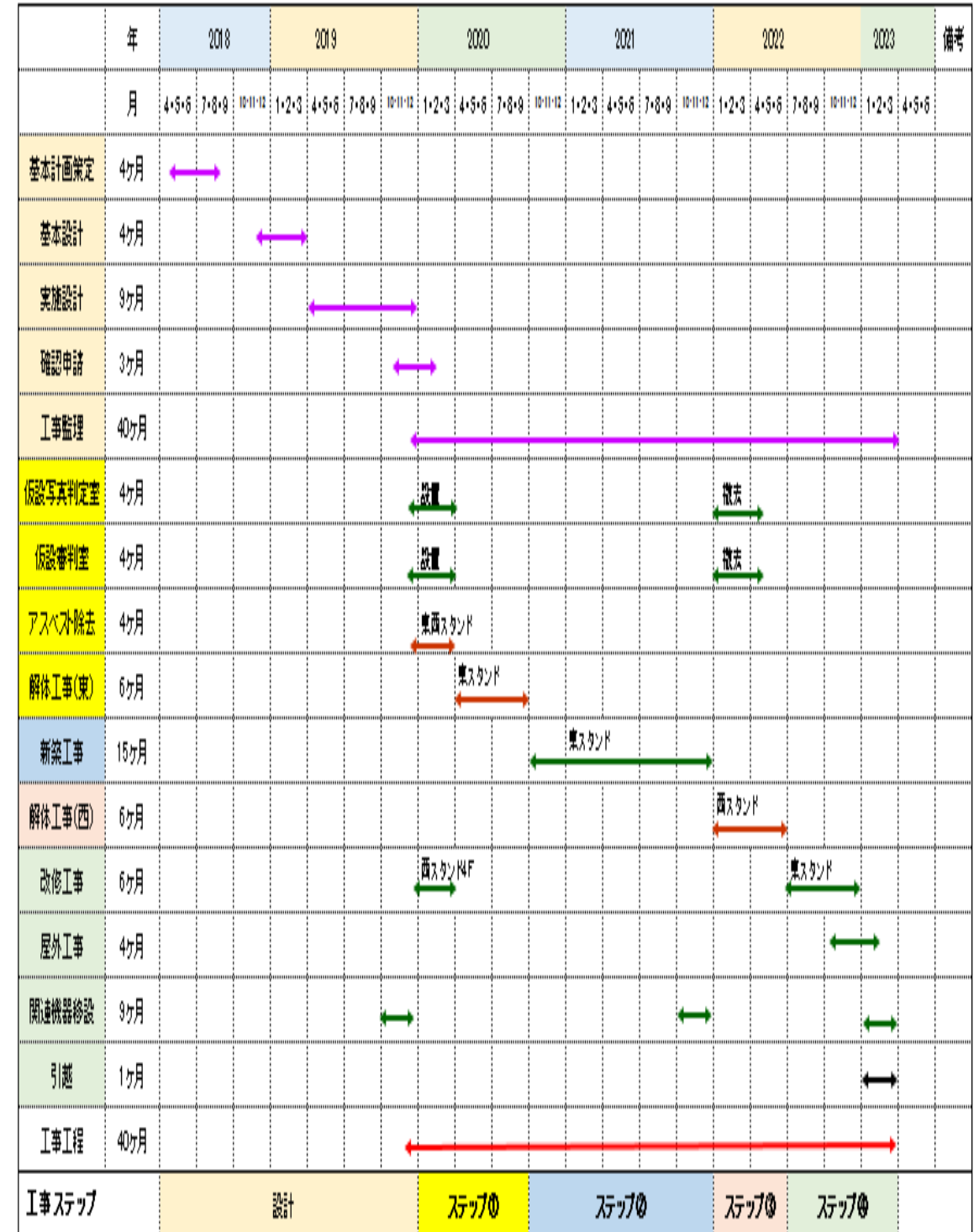
東スタンドについては、近年の入場者数や今後の施設のランニングコスト削減などを総合的に勘案して、コンパクトな施設を新設する。また、西スタンドについては、2階より上階部分を減築し、1階部分を再使用することで、既存の発売機能を確保することが可能となる。

したがって、この基本構想・基本計画に基づき、小型自動車競走場スタンド棟等整備事業に係る基本設計・実施設計に着手する。

改修内容	東スタンドを解体し、東スタンドを新設。西スタンドは減築改修し再使用
改修建物面積 (㎡)	センターホール、第5投票所、地下 B F 576 ㎡ 1 F 1,903 ㎡ 2 F 417 ㎡ 計 2,896 ㎡
解体建物面積 (㎡)	スタンド 12,226 ㎡ グリーンハウス 282 ㎡ 補助スタンド 475 ㎡ 計 12,983 ㎡
新設建物面積 (㎡)	1,939 ㎡
1日平均入場者見込み	平日 1,200人 休日 2,400人
長所	・ランニングコストも含めトータルで最も費用対効果が望める。 ・西スタンドの1階部分を残すことにより、電気設備関係等の切り替えがスムーズできる。 ・解体面積が少なくなる。

概算工事費	
スタンド新設	678,650 千円
スタンド解体	395,910 千円
スタンド改修	173,760 千円
その他工事	306,400 千円
(計)	1,554,720 千円
維持管理費(10年後比較) (ランニングコスト)	
空調改修	25,000 千円 (25 千円×1,000 ㎡) 更新
電気改修	10,000 千円 (10 千円×1,000 ㎡)
その他改修	20,000 千円 (2,000 千円×10 年)
光熱・上下水道料金	250,000 千円 (年間実績面積案分×10 年)
(計)	305,000 千円
合計	1,859,720 千円
財源	
基金取崩し	400,000 千円
その他財源 (国庫補助金など)	1,459,720 千円
計	1,859,720 千円

(参考) 事業手法及び工程計画





外観パース

小型自動車競走場東西スタンド棟等整備事業基本構想・基本計画策定業務委託



正面外観パース